

はにい

キセキ

平成24年7月9日

小学校の校長先生から、投稿がありました。
その中の4年1組学級通信をまず引用させていただきます。

「今から、この金魚の名前を決めたいと思います。」
園芸・飼育係の子がクラスの前に立ち、呼び掛けました。
みんなで話し合った結果、奇跡的に助かった命、という
ことで「キセキ」という名前に決まりました。4年1組
に新たな仲間が増えたとみんな嬉しそうな表情をしてい
ました。

それは、2週間前のことです。私が2時間目の授業の
ために教室に向かうと、水道場に人だかりができていま
した。見てみると、傷だらけの金魚を助けようと子ども
たちがバケツに水を入れているところでした。金魚は4
年1組のベランダにいたのをある子が発見しました。なぜ
ベランダに…?というこで、原因を究明すると、どう
やら猫にやられたのではないかということが分かって

きました。図書室の前の水槽にいた金魚を猫が2階のベランダに運んだのです。鱗は剥がれ、
尾びれや背びれには引っかかれた爪痕がありました。そんな金魚を子どもたちはなんとかして
も助けようとしていました。私もエアポンプを入れ、様子を見ることにしました。しかし、
傷だらけでしかも2時間近く陸地に干上がった状態、息はしているものの泳ぐことはできず、
浮き上がっていました。正直これは永くないなと私は思いました。

しかし、少しずつ、日が経つにつれ、自分で泳げるようになってきました。まさしく奇跡で
す。子どもたちは時間がある度に、回復してきたキセキの様子を覗きこんでいました。キセキ
は生命力の素晴らしさを私たちに見せてくれました。

ところが、やはり傷は深かったのか、驚異的な回復を見せた後は、少しずつ弱っていき
てまいりました。そして、先週の月曜日にキセキは亡くなっていました。朝の時間に、みんな
で学校の北門近くの桜の木の下に、お墓をつくりました。この日の「日々ノオト」では、キセキ
への思いを書いている子がたくさんいました。



このあと子どもたちの日記（日々ノオト）が並びます。
これも、そのまま掲載します。

日々/オト♪

・この間、周士くんが助けてくれて、今日まで生きていて、キセキは本当にきせきが起こったように元気になってきせきのように亡くなってしまって、わたしが会ってから本当に本当に少ない日々だったけど、わたしたち4年1組はたぶんみんな命の重さを知れたと思います。

・わたしはキセキにいつも元気づけられていました。「キセキががんばって生きているんだ…。わたしもがんばろう。」と。それが亡くなってしまったことがとっても悲しいです。（一部省略）キセキ生きてくれてありがとう。

・無事、天国へ着きましたか？少しの間だったね。でも、楽しかったよ。見えなかったかな？毎日見ていたんだよ。みんなすごく楽しかったんだよ。悲しいけど一言。ありがとう。

・キセキはぼくたちの友だった。みんなを盛り上げてくれた。今までありがとう。ぼくは今までのキセキの様子を思い出しました。元気になったと思ったら朝の会の少し前のこと、亡くなっていました。天国でもきせきが起こっているといいなと思いました。「キセキ、ぼくはうれしかったよ。キセキが生きているのを見て…。」と思いました。キセキがかわいそうでたまりませんでした。「むしろ、キセキはがんばってぼくたちを喜ばせたかったのだろう。亡くなってすごくざんねんに思っている。天国で安らかにすごしてね。」と心の中で思い、いのりました。

世界にはたくさんの学校があって、たくさんの学級がある。

そこで起こる日々の小さな出来事が、子どもを育み、未来を創っていくのだと思いました。

かながわ元気な学校づくり通信『はにいい』とは、

学校が元気になるように…

先生の仕事を受けとる

学校に携わる大人たちがしていることを受けとる

そして、もちろん子どもたちの育ちを受けとる

そんな、コミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp

ホームページ： <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f420082/>